

宜野湾市議会議長

大城 政利 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

宜野湾市議会からの政策等の提言に対する回答について（回答）

大寒の節、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、執行部の行政運営に多大なご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

平成 28 年 12 月 20 日付け宜議第 499 号にて提言のありましたみだしの件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 各種団体への補助金の助成のあり方について

各団体から補助金の増額要請がある現状を踏まえ、活動状況等を加味した上で、補助金の見直しを図るなど、適正な補助金交付に係る制度を構築していただきたい。

回答：現行、要綱等に基づいて予算の範囲内で補助金を交付しておりますが、当市の厳しい財政状況下、平成 29 年度予算編成方針では前年度予算額を上限として、増額及び新規の補助金を原則認めないとの方針を定めております。

今回の提言に基づき、各種団体の活動状況等を精査した上で適正な補助金交付制度の構築を検討したいと考えております。

2. 中原進入路の早期整備について

中原進入路は、軍用地のため市が整備を行えない状況であり、歩行者や自転車においては危険が伴う路線である。当該軍用地が平成 29 年度に返還された場合、市は平成 32 年度から実施設計等を行う予定とのことであるが、事故防止等の観点からもあらゆる方策を検討し、早期の整備を実現して頂きたい。

回答：中原進入路の整備については、返還後に市道認定を行い道路事業として整備を

進めて行きたいと考えております。当該道路の現状も把握しておりますので、全面道路整備を実施するまでの間は、土木維持管理業務において安全対策を検討してまいります。また、道路整備を早期に実施するためにも、関係機関と調整を進めてまいります。

3. 本市と諸外国・地域との交流基盤構築に向けた民間大使の設置について

沖縄県や浦添市においては、すでに民間大使が設置されており、世界のウチナーンチュ大会で活躍するなど一定の成果を上げている。本市の情報を世界に発信する上でも、大変有意義なものであることから、ぜひ、民間大使の設置について、検討していただきたい。

回答：あらゆる分野で国際交流と国際協力の推進は重要であると考えており、沖縄県に設置されている「ウチナー民間大使制度」の宜野湾市関係者の積極的な推薦を行い、本市の国際交流の拡充に繋がりたいと考えております。また、民間大使は、他自治体の状況等も勘案しながら研究・検討を進めて参りたい。

4. 「宜野湾市民の日」の周知強化について

7月1日は「宜野湾市民の日」として定められているが、いまだに市民の認知度は低い状況と考える。当該趣旨をより多くの市民へ理解していただけるよう「宜野湾市民の日」の周知に係る取り組みを強化していただきたい。

回答：当該事業の周知は、これまで各世帯配布の市報と市ホームページによる情報発信のほか、市民の日の啓発イベントとして、海浜公園内の公共施設無料開放などを行っております。

次年度は新たにコミュニティ FM ラジオ局による情報発信のほか、市民の日啓発イベントのさらなる拡充を含めて、周知強化に取り組みたいと考えております。

5. 市産業まつりのヒージャーオーラサー用鉄柵の更新について

市産業まつりにおけるヒージャーオーラサーは老若男女に人気があり、毎年多くの市民に親しまれている。現在、ヒージャーオーラサーに使用する鉄柵は老朽化が著しく、開催時には市職員が側で補助しながら対応している状況であり、事故が懸念される大変危険な状況である。つきましては、使用頻度や保管場所等も考慮の上、リース契約等を含め、次年度開催に向けた対応方を検討していただきたい。

回答：現在使用しています鉄柵（縦1 m×横2 mを8枚使用）は、ヒージャーオーラセ

一用ではなく、※1 豚房（ぶたぼう）用を譲り受けたと聞いております。また、鉄柵同士を結束する部分も錆びており、ロープ等により柵同士をつなげて使用している状況でございました。さらにヒージャーオーラセー用ではないため、柵も低く、山羊が勢い余って飛び出すという事もあり、職員が鉄柵を支え、ヒージャーオーラセーを開催しておりました。

しかし、今年度より、砂辺松福テント様のご厚意により、鉄柵の補強を行っていただき、職員が支えることなくヒージャーオーラセーを開催することができましたが、鉄柵の老朽化が著しく、予算化を検討しておりますが、今後は、鉄柵の保管上の問題から市所有ではなく、リース方式等を考えて参りたいと思います。

※1 豚房・・・豚のセリの時に使用する柵